

設計コンペに係る機能要求書

本資料は、洞川温泉ビジターセンター設計業務委託に係る設計コンペにおいて、求める機能の詳細について定めたものである。

1. 施設の規模について

- ・施設の延べ面積：1,000 m²以内
- ・敷地面積：約 8,000 m² ※細長い狭隘な形状の土地であるので、土地利用に工夫すること。
- ・構造：木造とする。
- ・階数：1階
- ・概算事業費：約 347,000 千円（税込）
※概算事業費以内の建築工事費とする。

2. 施設の機能について

ア 温泉機能（源泉温度：29.0℃ 湧出量：98L/min）

※源泉は15軒の温泉旅館と共用しているため、温泉水は循環濾過して使用すること。

- ・屋内浴室（浴槽、洗い場）：2室（男女各1室）
- ・屋外浴室（露天風呂）：2室（男女各1室）
- ・脱衣所（便所含）：2室（男女各1室）

イ 休憩・玄関機能等

- ・休憩室：1室（温泉客用休憩室）
- ・多目的室（20名程度で会議を行うことができる）
- ・利用者用便所：3室（男女各1室、身障者対応1室）
- ・ホール、ロビー
- ・フロント受付・観光案内兼事務室：1室
- ・更衣室：2室（男女各1室）
- ・下足棚、物産販売スペース
- ・大型コインロッカー配置スペース
- ・機械室、物入れ、倉庫、湯沸室

ウ 設備機能

- ・薪ボイラー2基の導入を行うこと。薪ボイラーは24時間稼働であることから、熱を有効利用できる方法として主要部分に床暖房を導入することを検討すること。

また、繁忙期には1日約1,300人の利用があり、薪ボイラーだけでは追いつかないので、サブボイラーとして油ボイラーを併設すること。

エ その他

- ・当該地区は、冬期には最低-15℃まで気温が低下する地区であることから、給排水設備については凍結防止対策を講じること。また、最高で約1mの積雪量があることから、屋根、雨樋の仕様を積雪量に耐えうる仕様とすること。また、屋根からの落雪対策も講じること。
- ・当該施設建築予定場所は、立地的に日当たりが悪いので、採光についての配慮を行うこと。
- ・ユニバーサルデザイン、障害者、高齢者に対して配慮した仕様とすること。